

バス停からの 小さな旅



10 「三和交流センター(ほたる線)」から 「おかめ庵」を訪ねて

三和交流センターのバス停は川浦川のほとりにあります。この場所は川沿いに下流へ向かうと山之上や伊深へ、上流へ向かうと川浦や七宗町へ、南や南東の山あいを抜けると川辺町の神坂や鹿塩へとつながったことから、古くから交通の要衝となっていた場所です。その証拠に、このバス停の付近には、郵便局や小学校などの施設が集まっています。

その三和小学校の東側には、周囲を見下ろせるような小高い丘があり、頂上に登ると、家並みや街道などを望めます。ここには「おかめ庵」というお堂があり、カメの形をした黒光りする石などが祭られています。

この石は、「川辺町へ向かう街道で見つかった」、「生き物のように動き出した」、「持ち帰って祭られ、病気を患う人が触ると治る」という伝説と共に大切にされてきました。

ここから見下ろす風景は、現在の暮らしや交通と合わせ、古くから人々の行き交う特別な場所であったことを伝えてくれているようです。

【参考】『美濃加茂市史 民俗編(1978年)』



今回乗車したバス

行き ほたる線

Aコース3便

帰り ほたる線

Bコース4便

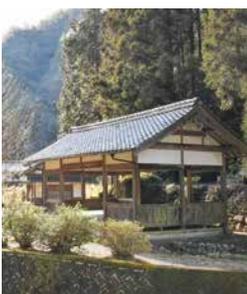
09時20分 美濃太田駅北口
09時59分

三和交流センター

下車後、道沿いに南東へ向かいおかめ庵を見学。東の山すそにある白山神社へ。川浦川沿いに下って、白髭神社を散策。

11時49分 廿屋口

12時13分 美濃太田駅北口



▲白髭神社



▲おかめ庵から三和小学校、川浦川方面を望む